

一緒に、これからも。

三家クリニックは、“多機能型 精神科診療所”です。

長いあいだ診療を続けていくうちに、地域で暮らすみなさんと「これがあるね」「あれがあるんじゃないかな」と、機能を少しずつプラスしていった結果、今の当院ができました。

来院して診察を受けることが困難な場合は、ご自宅へ伺って診察します。デイケアやナイトケアといった、リハビリテーションの場があり、訪問看護ステーションも併設して、生活の場でサポートしています。そしてなにより、困りごとなどを遠慮なく話していただける、相談業務を長年にわたり行っています。

大事にしているのは、

「生活しているところから、いつでも気軽に通える診療所であること」

「専門性のあるさまざまなスタッフが、チームで一緒に関わること」

「多様性のあるみなさんの、それぞれの希望に応えること」

いきいきと、みなさんが暮らせるように支援していきます。

わたしたちは、よく聞き、よく動きます。なんでも言ってください。

必要なことを、これからも。

みなさんと共に、三家クリニックは歩んでいきます。



医療法人三家クリニック 院長 / 理事長
みつや ひであき
三家英明

昭和47年(1972) 関西医科大学卒業、同大学病院精神神経科に入局。高知・芸西病院に1年余の出向、「開かれた精神科医療」を経験。藍野病院付設デイケアセンター勤務、保健所嘱託医を経て、昭和56年(1981) 談話室のある精神科診療所「三家クリニック」を開院。以降、今日までチーム医療と地域リハビリテーションを実践的テーマとして、診療活動に従事している。



医療法人三家クリニック 精神科医
みつや ひでひこ
三家英彦

平成15年(2003) 兵庫医科大学卒業、同大学麻酔科で麻酔科医として研修を受けた後、神戸大学精神神経科に入局。病院、保健所、企業嘱託医などを経て、三家クリニック勤務となる。現在は、本人を取り巻く家族や社会との関係に着目し、特にトラウマ、愛着、虐待の問題などに力を注いでいる。また、スポーツや演劇などのパフォーマンスを向上させる治療やカウンセリングも行う。



沿革

- 昭和56年 談話室のある精神科診療所 三家クリニック開院
院内にて各種グループワーク 開始
- 昭和58年 談話室にて内職作業始まる



開設の頃、談話室にて

- 平成3年 小規模デイケア開始
- 平成5年 クリニックが現在の場所に移転
医療福祉相談室として機能し始める
- 平成8年 二診制 開始
- 平成10年 大規模デイケア、ナイトケア 開始
- 平成13年 服薬・症状自己管理教育プログラム開始
- 平成14年 就労準備プログラム開始
- 平成19年 アウトリーチ(訪問看護)体制を整備



以前の三家クリニック
改装後(平成23年)は4階建てに

- 平成22年 訪問看護ステーション開始
- 平成23年 改装工事でリニューアル
- 平成24年 往診体制の強化
- 平成25年 電子カルテ導入
- 平成27年 株式会社 toi toi toi 設立
ひきこもり外来 開始
- 平成29年 相談支援事業(計画相談) 開始
- 平成30年 民間4団体で一般社団法人MUGEN設立

